

### オファーを受けて、初めて道外でも実施しました 「技術士を知ろう！ in 秋田高専」

#### 1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」第7弾として、初めて北海道外、秋田工業高等専門学校環境都市工学科の4年生を対象に実施しました。この道外初進出となった企画の実現は、当会幹事との業務上のつながりを契機に、秋田高専側からオファーをいただいて実現したものです。今回は北海道本部の青年技術士交流委員会(青技交)に加え、東北本部青技交の連携・協力を得て実施しています。

#### 2. 実施概要

開催日時：H29.11.22(水) 12:50～15:00

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等

技術士・技術士補の仕事内容と役割(講演2編)

土木・建築業界全般の仕事紹介

座談会「技術士と話そう！」

対象者：秋田工業高等専門学校 環境都市工学科  
4年生 36名

参加幹事：小澤、仁田、平岡、木本(記)(ミライ研4名)、仁義(北海道-青技交1名)、齋藤、内田、三澤(東北-青技交3名)

#### 3. 技術士資格の説明、制度概要等

小澤代表より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になって仕事をする上での資格取得の重要性等を説明しました。

自身の資格取得歴や会社での処遇等も交えた説明で、就職活動を目前に控えた3年生にとって、自分の進路等を考えるいい機会になったようです。



写真-1 冒頭の概説を行う小澤代表と積極的に参加してくれる学生さんたち

#### 4. 技術士・技術士補の仕事内容と役割

##### (1) 技術士の仕事(平岡技術士)

具体的な仕事内容の紹介は、まず明治コンサルタント(株)に所属する平岡技術士から、建設コンサルタントでの、特に地盤等に関する仕事の講演を行いました。秋田出身で、かつ、今回のオファーを実現させた張本人でもある平岡技術士は、軟弱地盤対策等の概説を行うとともに、秋田県内、由利本荘市での災害復旧現場での実例を紹介し、不良土を含む様々な資材で施工する現設計での工夫点などを、学生にもわかるように丁寧な説明を行いました。

##### (2) 技術士補の仕事(仁義技術士補)

続いて清水建設(株)に所属する仁義技術士補から、自身の担当してきた現場での仕事と土木系の技術者を目指したきっかけ等を紹介しました。スケールの大きい仕事で専門的な話になりがちなところ、高専生にも伝わるように、図解や解説等を加えながらの説明。また、女性技術者としての働き方の紹介も交

え、土木業界の魅力が学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

### (3) 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、筆者より土木や建築の業界全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。東北地方・秋田県内の事例等を用いて様々な仕事があることを知ってもらい、学生たちが自分の将来を考える機会になれば、と考えて用意したのですが、まだ漠然としてしか自分たちの「ミライ」を意識できていない学生にとって、今後の就職等を真剣に考える機会にさせていただけたようです。

## 5. 質疑応答

他校での実施と同様、質疑応答は各プレゼン終了後に学生の皆さんから各プレゼンターに対しての質問を記入していただき、そのうち何問かを抽出して回答する形で実施しています。

仁田技術士の進行で実施した今回は、「仕事のやりがいとは？」や「その業界・会社を選んだ理由は？」といった学生たちが直面している就職活動に直結するような質問や、建築・土木の両面を担う学科である特徴からの「一級建築士と技術士の違いは？」等の質問も寄せられました。北海道・東北それぞれの参加幹事から丁寧に回答し、何より自分たちが楽しんでいるという空気や業界の魅力、楽しさが学生たちにも伝わったのでは、と思っています。



写真-2 故郷での講演で熱く語る平岡技術士(幹事)  
同郷の“近い先輩”の声が学生さんによく届きます

## 6. 座談会「技術士と話そう！」

講演終了後は約30分間の時間を取り、より詳しく質疑等を行える座談会「技術士と話そう！」を実施しました。筆者の進行で、参加幹事メンバーがキャリアアップ時に考えたこと、学生さんの「10年後の自分」をテーマに、懇話形式での開催としました。

講演とは異なる懇話形式としたことで、参加幹事と学生さんとの距離が近くなり、より深く、詳しい話ができただけで、学生さんにもよかったです。

## 7. まとめ

学生からの感想には「技術士を目指そうと今日の講演を聞いて思った。」「この講演を聞いて技術士を目指したいと思った。」「卒業までしっかりと学んで将来に活かしたいと思った。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。また「今日の講演でお話を聞く中で、女性も安心して働ける就職先が増えていると聞いて安心しました。」と、女性の働く環境等についても理解を深めていただけたのでは、と考えています。

アンケートでは、有効回答数34人全員が技術士を「名前だけは知っていた」「以前から名前も内容も知っていた」状況で、34人中31人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また、同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価で4.5、4.4と学生に高評価をいただき、道外初進出の試みも無事に終わることができたと考えています。



写真-3 座談会の様子 ※写真は加工しています  
(左側が仁義技術士補、右側が仁田技術士)